

施策番号	1003		
施策名	市民との共汗で築く農林業		
概要	市民が農林業に触れる機会を創出するとともに、モデルフォレスト運動など市民と連携した農地・森林の保全活動の推進や、学校教育等での農林業を題材とした学習環境の整備、食育活動の促進を図る。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

施策の評価

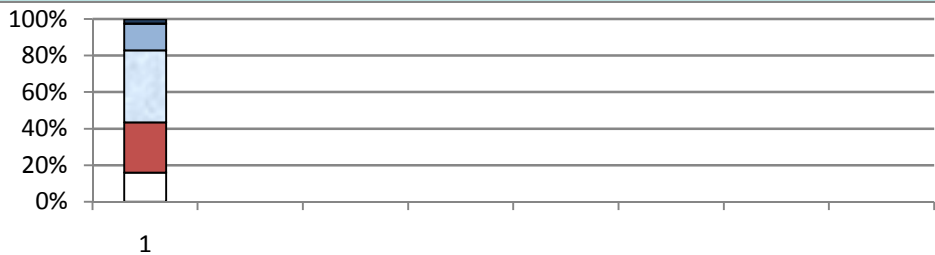
1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	市民農園区画数(区画)	-	-	3,550	3,963	4,045	98.0%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答						
		そう思う	どちらかと言う とそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	市民農園や森林を守る運動、学校の体験学習などにより、京都の農林業が身近になってきている。	12	73	197	137	80	499	d
		2.4%	14.6%	39.5%	27.5%	16.0%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						d



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	d	
(重み付けの理由) 農林業に関心のない市民にとっては、実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えたため。						年度
(原因分析) ・客観指標評価は、市民農園の開設支援や農林業だより・ホームページによる市民農園情報の啓発により、目標値を概ね達成することができ、a評価となった。 ・市民生活実感評価は、市民農園の整備や森林を守る運動等の取組が、現時点では限定的なものであるため、施策の達成度が実感しにくく、d評価になったものと考えられる。 ・このため、総合評価はB評価となった。						年度

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	農業啓発	30,580	30,948	かなり良い	産業観光局
2	市民と耕す農業支援事業	20,433	20,266	かなり良い	産業観光局
3	農地・水・環境保全向上対策	29,584	31,403	かなり良い	産業観光局
4	農とふれあう総合体験型市民農園整備事業	27,201	15,024	良い	産業観光局
5	林業活性化対策(京の山杣人工房事業)	10,268	10,112	普通	産業観光局
6	北部振興拠点イベント実施	12,044	12,059	普通	産業観光局
7	京都市地域特産物需要拡大センター(ウッディー京北)	11,376	10,001	かなり良い	産業観光局
8	「合併記念の森」創設事業	102,175	19,861	-	産業観光局
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・総合体験型市民農園の開設やモデルフォレスト運動の推進、また市民への農林業情報の提供を充実させることにより、市民生活においても施策の達成度が実感できるよう取り組む。

施策名	1003	市民との共汗で築く農林業					
指標名	市民農園区画数（区画）						
担当課	農政企画課		連絡先	2 2 2－3 3 5 1			
1 指標の説明							
市内で開設された市民農園の設置区画数							
2 指標の意味							
市民の農林業に対する期待に応えるため、農業に触れる機会創出に向けた取組状況を示す指標							
3 算出方法・出典等							
事業担当課調べ							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度	
数値	3,550	3,963	413区画増	4,045	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（3,825区画）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度5,000区画）から各年度の目標数値を等差的に算出	98.0%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		5,000	31年度				京都市農林行政基本方針
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満							
6 基準説明							
当該指標については、農業に関心を持つ市民の寄与度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。							
7 評価結果							
						23	
	-		-			a	